

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 5年 3月 17日

事業所名 放課後等デイサービス そらば

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	50%	25%	25%	下校時間が重なり、課題など同じ活動で部屋が混雑することがある。 個室があると良い。密になることがある。	パーティションなどで室内を区切る、部屋ごとに活動を分けるなどしてスペースの有効活用をしていきます。
	2	職員の配置数は適切である	0%	50%	50%	足りていない。	指定基準は満たしていますが、個別支援を充実させていくためには職員の採用も考えていきたいです。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	25%	0%	75%	玄関、階段などバリアフリーではない。 活動はしやすい。	玄関、トイレ、階段等に手すりの設置はされていますが、危険個所のパトロールを定期的実施しています。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	50%	50%	0%	毎月行い、支援内容を検討している。	月毎に会議を実施し、目標の振り返りや改善策を話し合っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	75%	25%	0%	毎年行っている。 全てを改善できていない。	まとめて対応は難しいので、少しずつ確実に対応をしていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	0%	法人のホームページに掲載している。 玄関に掲示している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%	0%	外部評価をできていない。	必要に応じて検討したいと思います。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	50%	50%	0%	オンライン等での研修を活用していきたい。 年間計画を作成し、実施している。	年間で計画を、支援、環境作り、モチベーションなど偏らないように作成し、実施していきます。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成して	75%	25%	0%	定期的な面談の実施で、要望を聞き、計画を作成している。ケース会議の実施。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	0%	100%	0%	使用しているが、内容を再度検討していきたい。	アセスメント内容を見直し、より良いツールを完成させていきたいです。

適切な支援の提供	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	25%	75%	0%	担当者に任せきりになっている。	年間を通して活動の枠組みを職員全体で考え、細部を担当者に任せられるようにします。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	0%	会議などで話し合い、組んでいる。なるべく新しい活動を取り入れるようにしている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	50%	50%	0%	出来ているところ、難しかったところ都度話し合い設定している。生活に繋がる課題に取り組み、外部講師も依頼している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成している	75%	25%	0%	状況に合わせて行っている。メリハリのある活動の組み合わせを心掛けている。グループ分けをし、個々に合わせている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	0%	昼礼などで必ず周知している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	0%	翌日に行っている。	送迎終了時間がまちまちになるため、翌日にヒヤリハット、褒めるべきこと、気付いたことなど報告しあい、検討が必要な内容は都度話し合っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	0%	連絡帳の他、記録に残している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	0%	定期的に実施している。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っている	0%	75%	25%	内容を全て理解できていないため、今後取り組む。	基本活動：「自立支援と日常生活の充実のための活動」「創作活動」「地域交流の機械の提供」「余暇の提供」の複数組み合わせで支援をおこなっていますが、ガイドラインを読みきれていない職員もおおく、周知させていきたいと思っています。
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	0%	100%	0%			

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	100%	0%	0%	都度、申し送りなどで確認している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0%	50%	50%	受け入れができていない。	看護師の配置も予定出来ておらず、体制が整う見込みがないです。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	0%	75%	25%	事業所が中高生を対象としているため、連携はない。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	50%	50%	0%	相談員を通して、事業所での様子を伝えている。	依頼があった時に、事業所での様子をまとめた書類や計画を提供しています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0%	100%	0%		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0%	0%	100%	保護者の意向も踏まえ、今後検討を考える。 交流はできていない。	必要に応じて検討したいと思います。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	50%	50%	0%	連絡会への参加者が偏っているため、均等に参加できるようにする。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	0%	日頃の申し送りで子どもの様子を伝え、相談を聞き、職員間で共有し、検討している。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	50%	25%	25%	ペアレントトレーニングについて学んでいきたい。	困り事への対応等は常にさせてもらってましたが、ペアレントトレーニングの知識が薄いため、今後強化していこうと思います。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	50%	50%	0%	契約時や変更時など面談や書面で説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	75%	25%	0%	保護者の悩みを傾聴し、対応を検討し、助言・支援している。	

保護者への説明責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	0%	100%	コロナの状況であるため実施していない。	マスク着用の基準が緩和され、感染対策は引き続き実施しつつ、次年度は開催を視野に入れています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	75%	0%	25%	都度、要望や苦情を周知し、改善策を話し合い、保護者に伝えている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	0%	年4回、広報を発行している。避難訓練実施のお知らせも配布している。	
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	0%	守秘義務を守り、個人情報の保管場所も決め、対応している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	75%	25%	0%	伝わりやすい方法で提示するようにしている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	0%	100%	可能な限り、地域の行事に参加しようと思っている。	招待出来る行事の実施がありませんが、避難訓練等の実施を周知するなど地域の方への発信はしていきたいと思います。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	50%	50%	0%	職員間での周知はできているが、保護者への周知はできていない。	保護者への周知まで至っていませんでした。気軽に閲覧できる環境を作り、周知を促していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	0%	年2回（火災、地震）実施している。防災週間を設け、防災についての情報発信をしている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	0%	研修への参加。 参加出来なかった職員へも必ず周知している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	0%	25%	75%	落ち着かない様子があったときは、保護者に直接伝えるようにしている。	やむを得ず行うことを想定し、必要な時には計画に記載し、記録を残し、対応していきたいと思います。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	75%	25%	0%	保護者からの聞き取りで対応している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	0%	毎日、報告している。 事例検討会を行い、話し合いの場を設けている。	